

第88回 公開幼児教育講座

講座テーマ 『絵本タイム』に『絵本対話』を
講 師 児童文学者 宮地 敏子 先生
日 時 令和5年1月23日（月曜日） 10時30分～12時
場 所 幼稚園ホール
申 込 み メールにてお申込みください。info@meguro-kdg.ed.jp

件名「第88回公開幼児教育講座申込み」

- ①参加される方のお名前、住所（番地は必要ありません。下目黒4丁目等）
- ②お子様に読んだ絵本で特に印象に残っているものはありますか？（自由記述）
講座の中で対話の紹介の資料にさせていただきます。

下記の質問の回答をメールにお書きください。

1. 絵本名
2. 読んだ時のお子様の年齢・性別
3. なぜ印象に残っているか、その理由を教えてください。

申込締切 令和5年1月18日（水曜日）

参加費用 無料

<講座のご案内>

「絵本タイム」って、絵本を子どもに読む時間のことでしょう。

でも「絵本対話」ってなに？こんな質問が聞こえてきそうなタイトルですね。

「絵本を一緒に読み合って、軽い会話ではなく一步深い対話を楽しむのが絵本対話です」

乳幼児期は、子どもが親を育てる時期でもあります。

絵本対話は親子の共育の機会になります。

ことばだけではない対話。それが「絵本対話」の肝心なところかもしれません。

たとえば、うんざりするほど「このほんよんで！」と息子がもってくる時は、それは「いっしょにいて！」ということなのだと思えて体で受け取ったお父さんもいます。

家庭での絵本タイムで耳で聴き、目で観、安全と信頼というぬくもりを肌で感じ、お母さんとお父さん、家族の匂いに包まれ、こころの奥に大切に記憶します。

「これって、会話じゃなくて対話なのかも」と思える絵本タイムは、感動を伴います。

お子さんの成長に驚いたり、ご自身の感じ方の変化に気づいたり。

この講座が“振り返り”の楽しい時間となりますように。

<講師紹介>

国際幼児教育学会理事

海外子女教育振興財団 通信教育幼児コース監修者

インド児童文学の会 会長

元 洗足学園短期大学幼児教育科 教授